

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくろう

山形県 戸沢村

とざわむら 議会だより

2020 No. 136

2020年6月定例会



第32回 戸沢村老人クラブ連合会公式輪投げ大会

2~3p 6月定例会 補正予算 **6,700万円を可決** 総額47億4,700万円

4~10p **村政を問い直す！** 新型コロナウイルス感染症対策は……6議員登壇

11p 常任委員会報告 令和2年 第3回臨時会

12p **大家族だよ!全員集合!!** 土田博幸さんご家族 (野口)

6月 定例会

6/3～6/5

補正予算 6,700万円を可決 総額47億4700万円に

6月定例会は、6月3日から5日までの3日間の会期で行われた。報告事項1件、令和2年度補正予算1件、条例改正2件、工事請負契約1件、農業委員の任命同意9件等を審議し、全議案を可決した。

一般質問には6議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策、ふるさと納税、村営バスの新庄延伸、防災マップ、高麗館・ぼんぼ館の整備及び誘客、ソーシャルワーカーの配置、もがみ中央農協古口支店の活用、村長の吊電対応、村営住宅の維持管理及び今後の整備計画等々多岐にわたる議論が交わされた。

一般会計補正予算(第2号)概要

今回の補正は、異動に伴う人件費の組替、第2期人口ビジョン等各種計画策定経費、システム改修、子育て支援センター運営整備事業、さらに新型コロナウイルス感染症対策に要する予算が計上された。

主な歳入

総務費国庫補助金

個人番号カード交付事業費
補助金 4万1千円

社会保障・税番号制度システム補助金 200万円

民生費国庫補助金

子ども・子育て支援交付金
530万円

教育費国庫補助金

へき地児童生徒援助費等補助金(スクールバス購入費補助金) 178万円

財政調整基金繰入金

5787万9千円

議会日誌

(4月～6月)

(一)の行事はコロナウイルス感染症対策の影響により、中止、来賓なし、来賓縮小、書面決議等のため、議会からの出席が見送られた行事です。

4月

- 1日 辞令交付式
- 6日 選挙管理委員会委員及び補充員当選証書附与式
(戸沢保育所入所式)
- 7日 議会広報常任委員会
- 8日 (最上町村議会議長・事務局長合同会議)
- 15日 議会広報常任委員会
- 18日 (戸沢小・戸沢中入学式)
- 21日 議員全員協議会
- 22日 (最上川舟下り安全祈願祭)
- 23日 例月出納検査
- 29日 議会広報常任委員会
- 29日 (戸沢村消防団春季消防演習)
- 下旬 (戸沢村遺族会総会)
- (身体障がい者福祉協議会総会)

5月

- 10日 (第33回東京戸沢会総会)
- 12日 議員全員協議会
- 13日 第2回臨時議会
- 中旬 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会
(農業再生・振興協議会総会)
- (観光物産協会理事会・総会)
- (もがみ北部商工会通常総会)
- (とざわ旬の市)
- 下旬 (知事を囲む市町村自治振興懇談会)
- (陸羽西線高速化促進市町村連絡協議会総会)

主な歳出

企画総務費

650万円

第2期人工ビジョン及び戸沢村まち・ひと・しごと創生総合戦略作成費及び各種計画印刷費

戸籍住民登録事業費

206万8千円

児童福祉総務費（地域子育て拠点事業）

530万円

災害対策総務費

394万9千円

新型コロナウイルス感染症対策（県外居住学生支援、県内外居住学生緊急生活支援）



完全な終息に至っていないコロナ感染症。今後も迅速な対応が求められる。

条例改正

① 戸沢村介護保険条例の一部改正

令和元年10月1日より施行された消費税及び地方消費税の引き上げへの対応として、低所得者の介護保険料をより一層軽減するために改正したものです。

② 戸沢村村道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正

道路構造令の一部を改正する政令の基準一部改正に伴い改正したものです。特別な理由がない限り、自動車や自転車の交通量の多い第3種、第4種道路には自転車通行帯を設けることとなります。 ※現在のところ、戸沢村では該当する道路はありません。

令和2年度 戸沢村一般会計補正予算(第2号)

	補正額(千円)	補正後の額(千円)
総務費	32,802	1,084,646
民生費	10,992	753,589
衛生費	15,128	368,155
農林水産費	△1,611	401,286
土木費	3,352	522,356
教育費	1,824	397,520
災害復旧費	3,949	456,130
予備費	564	3,398

主なコロナ対策【生活支援策】

- 各世帯に12,000円の戸沢村商品券の配布
- 子育て支援として18歳未満のいる世帯に対象者1人あたり10,000円の支給
- 休業などでお悩みの方に上限20万円を無利子で貸し付け

6月

- 3/5日 6月定例会
- 4日 戸沢村老人クラブ連合会総会
- 4日 戸沢村未来創造プロジェクト会議
- 5日 議会広報常任委員会
- 8日 (オリンピック聖火リレーイベント)
- 12日 最上地方市町村・町村議会監査
- 22日 最上地区広域連合議運・全協
- 23日 最上市町村議会議長会最上町村議会議長会
- 23日 全員協議会
- 23日 第3回臨時会
- 23日 議会広報常任委員会
- 24日 舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会監査
- 24日 とざわ創生推進会議本部委員委嘱・第1回推進会議
- 25日 戸沢村振興審議会委嘱・第1回審議会
- 25日 最上地区広域連合第2回定例会
- 26日 6月例月出納検査
- 20日 最上広域市町村圏事務組合5月臨時会
- 22日 議会運営委員会
- 27日 議員全員協議会
- 29日 例月出納検査
- 共育推進研究所総会
- (新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会総会)
- (国道344号・県道平田鮭川線整備促進期成同盟会総会)
- (国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進期成同盟会総会)
- (新庄中核工業団地企業誘致促進協議会総会)
- (最上開発協議会総会)
- (最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会総会)
- (議長・副議長全国研修会)

村政を問い、正す!

6名の議員が一般質問

一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

I 岡田 孝一議員 5 P

- ふるさと納税について
- 村営バス新庄延伸についての進捗状況について
- 新型コロナ対策
(小中学校生に対する学業支援状況や遠隔授業の体制整備)

II 柿崎 英矢議員 6 P

- ▲新型コロナ対策 (感染予防・授業時間確保)
- ▲防災マップについて (避難困難者の避難誘導)
- ▲高麗館誘客のための施設整備

III 加藤 政一議員 7 P

- 新型コロナ対策 (児童生徒への対応・学校関連事業者支援)
- 福祉関連有資格者の採用について

IV 小野 宏議員 8 P

- ◆新型コロナ対策 (小中学校時限数確保)
- ◆学校での三密を防ぐ対策は
- ◆ぽんぽ館の改修、周辺設備の充実について

V 富樫 義人議員 9 P

- ★新型コロナ対策 (企業団体支援・財源確保策)
- ★取得したもがみ中央農協古口支店の、その後の状況と今後の活用方法について
- ★お悔み事があった際の、村長の弔電対応の経緯について

VI 伊藤 一議員 10 P

- ▼村営住宅の維持及び管理について
- ▼今後の村営住宅整備計画について

ふるさと納税実績は

問 私は、これまでも提案や取り組み方針を伺い、答弁は「豚肉や雪バナナを含めて納税額を伸ばす。」との事で昨年度ふるさと納税の実績や今後の目標と計画について伺います。

村長 平成29年度の8500万円をピークに減少し令和元年は438万円です。

問 昨年の村へのふるさと納税額は県内最下位です。県内最高が寒河江市で44億2000万円・新庄市が3億6000万円隣の鮭川・大蔵両村が1億7000万



返礼品の一例

円です。村長、この金額で恥ずかしいと思いませんか。再答弁を求めます。

村長 私も恥ずかしい状況です。今年度は創意工夫と戸澤豚一番育ちや雪バナナ

を十分活用して数千円に至るよう努力します。

新庄への交通 アクセス確約

問 村営バス新庄延伸を再三にわたり進言しましたが、その後検討結果を伺います。

村長 各地で運行されている地域交通の情報を収集し多種多様な形態のため、本村に適した形態や財政事情を含め現在も検討しています。

問 村長に再度伺います。昨年六月議会の答弁では、大変理解のある意見でしたが、その後全く進んでいない答弁です。村長の本気を感じません。南部・中部・北部で月2回程度でもよいと思うが再答弁を求めます。

村長 私も、高齢化率が上昇する中、非常に重要な事と考えますから、議会と協力しながらやりましょう。



まちなか循環かむてん号 (新庄市営バス)

在宅学習の 環境整備は

状況と遠隔授業支援体制整備の考えを伺います。

教育長 学校では学習支援ソフトを入れており家庭からのアクセスで学習可能ですが数が少ない状況です。遠隔授業に関し今年度全校生徒にタブレットが整備されます。またインターネット環境がない家庭にも整備を行います。

問 小中学生に対する、ICTを活用した学習支援の

一般質問



岡田孝一 議員

一般質問



柿崎英矢 議員

村内で感染者が確認された場合の対応は

問 新型コロナウイルスの感染者が確認された場合の対応は万全か伺います。

村長 村は施策を検討、感



役場庁舎の飛沫対策

染予防に努めています。対応については、消毒液、飛沫防止シート、窓口職員へのマスク配布などです。村民に「新しい生活様式」を心がけて頂くことが、切実な家族、友達の命を守ることにつながるものと考えます。

保育所の感染対策は

問 北九州市等でクラスターが新たに発生しています。保育所での感染対策の取り組みについて伺います。

村長 手洗い、手指の消毒、マスクの着用、園内の消毒や換気に加え、体温測定で37.5度以上あれば登所を控えて頂いています。送迎時の園児の受け入れ、引き渡しは、玄関の外側で行っています。

小中学校の感染症対策と授業時間の確保について

問 学校のウイルス感染症の予防策は

村長 感染症対策マニュアルの徹底をしています。教室も出来るだけ分けて少人数で授業をし、図書室、水屋、トイレ、教室は間隔を空けて対応しています。

問 教育の遅れの解消策は

教育長 土曜授業や1日の授業時間増は行わない方針です。夏休みもある程度は確保する方向で考えています。

災害時の避難支援体制は

問 高齢者所帯、体の不自由な方の避難誘導の対応は

村長 地域の皆様からも要配慮者への避難支援に協力して頂きたいと考えています。

問 各地区の避難訓練の場で、一人一人の誘導の担当等話し合う項目を作って頂きたい。

村長 避難誘導の項目を作ることは、とても大切な事ですので実行していきたいと思えます。

高麗館の誘客について

問 高規格道路が完成すれば、高麗館の利用客数が減少すると見込まれます。全国的に道の駅と、キャンプ場が一緒の所は49か所あり、ほとんど予約でいっぱいです。小規模のキャンプ場で



道の駅とざわ高麗館

あれば可能と聞いています。誘客は、今後の課題としたいと思いますので、前向きに考えてみてはいかがでしょうか伺います。

村長 高麗館は地滑り地域内にあり、新たな取り組みは難しいと考えます。キャンプ場は広大な土地のあるポンポ館近辺に考えていきたいと思えます。

長期休校による 影響への対応は

専門的知識を 持った職員採用は

問 3月以降、対面授業が行われず、学習の遅れ、体力の低下をどう挽回していくのか伺います。

た上で学習活動を行うことを妨げないが、グループ学習は行わないなど制限があります。

教育長 休業中の時間の確保については、教育の中心をどうするのかという視点でお答えします。5月11日からの分散登校時の授業と5月18日の週で、前の学年の未履修について解消しています。

確かな学力を身につけさせる必要があります、限られた時間の授業なので、「急がない」「内容の重点化」「単元ごとの計画」の3つの視点で授業を行うように先生方を指導しました。再度休校となった場合は、中学3年生の学習を最優先に確保していきます。高校入試の出題範囲は、中学校での学習内容全てからです。高校進学してからの事を考

学校再開に文科省がいろいろ示している一例として、感染拡大が継続していない地域では、感染対策を講じ

えても、可能な限り登校させて対応していきます。

問 休校による給食の休止とスクールバスの運行休止で経済的影響を受けた村内業者や事業所の支援をどう考えているのか。

に納める資材の利益の減収より一事業者の減収と考えるとスクールバス等、補助金申請が妥当と考えられます。事業所への支援は、バス・タクシー、舟下りについては、村への要望があり、支援対策について検討しており、機械・設備の点検整備など、維持管理経費が掛かるため営業再開に支障のないよう第2段の支援策を考えています。



加藤政一 議員

一般質問

村長 給食の休止において、村内業者及び事業者には、給食資材の仕入れを止めたので、休止による実損はなかったとのことでした。給食

に納める資材の利益の減収より一事業者の減収と考えるとスクールバス等、補助金申請が妥当と考えられます。事業所への支援は、バス・タクシー、舟下りについては、村への要望があり、支援対策について検討しており、機械・設備の点検整備など、維持管理経費が掛かるため営業再開に支障のないよう第2段の支援策を考えています。



休校中校舎と教科書

問 虐待等での対応の困難なケースが増加しており、適切な対応をするため、専門的資格を持つ社会福祉士や、保健師の有資格者を採用すべきではないか考えを伺います。

村長 当村の現状は、児童虐待もしくは虐待の心配があり、要保護児童対策地域協議会で扱っている件数が、今年度当初で10件、高齢者に対する虐待事例が、昨年は2件で今年度はすでに1件あり、精神的・経済的虐待は、擁護者と分離した事例があります。

支援が必要な分野は、多岐にわたっており、専門性が必要になるのも事実です。相談窓口を一本化するための法整備が今年度予定されており今後、それらを見極め、財政状況や職員の年齢構成など総合的に判断し検討してまいります。

一般質問



小野 宏 議員

児童生徒の授業時間の確保は

問 新型コロナウイルス感染症の影響で、学校も休業となり、生徒児童の学力の低下が懸念される。今後の制限数の確保をどのように計画するのか伺います。

教育長 休業期間中の欠時間は小学校121時間、中学校は139時間となります。文部科学省からは夏休みの長期間休業の見直し、土曜日授業、そして1回の授業時間の増など示されています。しかし、制限数の確保だけを優先するのではなく、児童、生徒の負担軽減

事が始まります。村民の方々から具体的にどこをどのように改修するのか詳しく教えてくださいとの声が多くあります。具体的な改修内容をお示しください。

副村長 設備配管等改修工事につきましては、老朽化した給水系統、空調関係のほとんどを更新します。また、来客者の要請が強い男女浴室へのサウナ、水風呂の設置工事を行います。さらに管内の和式トイレの全てを洋式のシャワートイレに交換するとともに、一槽式である砂風呂に間仕切りを設置し、利用しやすい設備に改善します。

加えて館内すべてを、靴を脱いで利用する施設に改修すること、併せてホールの休憩スペースについても来館者が利用しやすい長時間滞在できる施設になるよう検討しているところで

問 本年度、大幅な予算が確保され、ぼんぼ館改修工

ぼんぼ館の改修内容は

屋外防水工事改修工事につきましては屋根のほとんどを密着型の塩ビシートで一体的に被うもので、現在

の漏水は解消されると考えています。工期は設備配管等改修工事が5月12日から12月11日までとし、順次、可能な工事から進めながら屋上防水改修工事は8月31日までの工期として9月中旬から3か月間を全館休業として施工いたします。

ぼんぼ館周辺設備を充実する考えは

問 ぼんぼ館周辺に子どもたちの遊具、バーベキューハウス等の整備の考えは

副村長 若者センターのカーポート小屋に保管されている汽車、ゴーカートなど活用することを、今後まちづくり課のぼんぼ館整備構想と併せて検討していければと思います。

また、まちづくり課としてはぼんぼ館の活性化を図る付帯施設として山形戸沢ファームが生産している「戸澤豚一番育ち」を使用した食肉加工品の販売やバーベキューハウスの設置、オートキャンプ場や遊具の整備などを検討していくことにしています。



改修工事中のぼんぼ館



若者センターカート小屋

コロナ禍における経済対策は

一般質問



富樫義人 議員

問 新型コロナウイルス感染症に伴う被害者に対する村独自の支援要請に、もがみ中央農協と戸沢村物産協会との要請書が届いています。村としての対応を伺います。

村長 もがみ中央農協の要請書に対しては「山形県災害・経営安定対策資金」が、県により制度化されており、村としては、県の制度による貸付金利子の3分の1を負担することになっていて支援策が既に用意されており、実例が示されれば村としても独自の支援策を準備

できると思っています。

観光物産協会に対しては、商工観光事業者に各種の助成や貸付けを実施しているところですが、感染症の長期化により維持管理経費が膨らんでいる業種もあり、緊急事態宣言が解除されても、観光客は見込めない状況が続いています。国・県による振興策を見ながら第2弾として追加の助成事業を検討中であり、観光を中心とした交流人口の回復手立てを、今後も講じてまいります。

コロナ関連予算の捻出に報酬等の削減は考えているか

問 新型コロナウイルス感染症により各自自治体では、生活支援や経済対策などに報酬減や期末手当辞退など取り組まれる中、村としての対応を伺いたい。

村長 村としては、第2波、第3波が現れるといった報道もあり、今後の感染者数や経済状況を見据えながら対応させていただきたいと考えています。



観光施設駐車場

旧農協古口支店の活用方法は

問 今年3月にもがみ中央農協元古口支店購入の契約を交わしているが、その後の進捗状況と今後の活用方法を伺いたい。

村長 3月に契約書を取り交わし、引き渡しについては4月20日付けで双方立ち

合いのうえ、確認しております。店舗部分については、商工会での使用の可否を提案しているが正式に回答をいただいていない状況にあります。また地区からの要望がありました避難所として活用も考えており、一定の投資をして、改修等が必要であり、それらを今後の課題として検討してまいります。



もがみ中央農協元古口支店

一般質問

村営住宅の現状と課題は



伊藤 一 議員

問 住宅入居者の要望、意見をどのように集約しているか

村長 入居の方より電話での修理、交換がほとんどで、状況確認後に対応しております。住宅に関する問い合わせは、4月から5件あり上宅住宅に空きがあると伝えられても、戸沢住宅の入居を希望されます。

問 住宅管理の状況を把握する方法は

村長 住宅設置個所に管理

補助員を委嘱し、文書の回覧配布、共同作業の集約、ごみステーションの維持管理、入居者の要望等の取りまとめをお願いしています。

問 いかような住宅問題を抱えているか

村長 住宅使用料の未納を抱えており、滞納整理が問題となっています。戸沢団地の住宅は築後30年が経過しており、入居・退去時の修繕による支出が多くなっていることも問題です。



戸沢団地

問 若い世代の住宅利用状況は

村長 18歳未満が同居扶養の世帯と仮定して、世帯数をカウントしています。

戸沢団地の8世帯、真柄住宅の4世帯、古口住宅の4世帯、上宅住宅の2世帯で、低所得者用住宅の合計で18世帯が利用しています。

またクリダイの丘住宅は3世帯とも該当し、みどりの丘住宅では5世帯が該当し、定住促進住宅においては若い世代が多い状況にあります。

今後の村営住宅の整備計画は

問 今後の村営住宅の増設計画、コンセプトはどのようなものか

村長 村としては、住宅困窮者向けの公営住宅の建設は計画しておりません。移住・定住向けの集合住宅や一戸建て住宅、あるいは建築期限を設けた分譲宅地の

整備などを想定しています。古く小学校跡地の利活用の観点で、建設の方法と若者や子育て世代に配慮した間取りや家賃の設定を「戸沢村未来創造プロジェクト会議」において検討をお願いしているところです。

入居者等のニーズに合った住宅建設を財政負担にならないように考慮し、スピード感を持って対応してまいります。



みどりの丘住宅

常任委員会報告

総務文教常任委員会

6月4日に総務文教常任委員会を開催し、2件の陳情について審査を行いました。

受理番号第1号 看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出について協議し、採択すべきであると決定しました。理由として、安全、安心で良質な医療、看護サービスを提供し続ける為、本委員会において適当と認めました。

受理番号第2号 介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出について協議し、採択すべきと決定しました。理由として安全安心で良質な介護サービスを提供し続ける為、本委員会において適当と認めました。

総務文教常任委員長

柿崎 英矢

産業建設常任委員会

6月4日に産業建設常任委員会を開催し、請願書の審査を行いました。

雇用調整助成金の更なる改善・拡充等を求める意見書提出の請願で、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、幅広い業種の事業者が休止や縮小を余儀なくされており、事業継続と雇用の維持が深刻な課題となっているとの要旨で、請願書が届きました。

更なる改善・拡充を求めするため、全員一致で採択されました。

この新型コロナウィルスの問題については、今も尚色んな場面において、一人一人が懸念しなければいけないと、認識し、周知しなければいけないのではないのでしょうか。

産業建設常任委員長

阿部 光樹

令和2年 第3回臨時会

令和2年第3回臨時会は、6月23日に開催された。

令和2年度戸沢村一般会計補正予算1件、条例改正1件を審議し、全議案を可決した。

一般会計補正予算(第3号)額は1億3000万円に

今回の補正は、第2号補正に引き続き、コロナ感染症対策に要する予算等が計上された。

商工費県補助金

新・生活様式対応支援補助金

250万円

県オンライン化促進支援補助金

200万円

寄付金

ふるさと納税寄付金

4200万円

主な歳出

ふるさと納税事業費

ふるさと納税企画等業務委託料

2500万円

商工業振興事業費

村持続化給付金

150万円

教育費国庫補助金

公立学校情報機器整備費補助金他

1153万円

村事業継続支援金

600万円

村特産品支援金
200万円

新・生活様式対応支援補助金
800万円

村プレミアム付商品券発行事業費補助金
510万円

観光振興事業費

地元の魅力発見事業費助成金
400万円

小学校教育振興事業費

備品購入費

4571万3千円

条例改正

個人番号通知カードが廃止されることに伴い、戸沢村手数料条例を改正したものです。

個人番号の通知カードの再交付事務がなくなることから、手数料の一覧から削除となります。

大家族だよ!全員集合!!



◆楽しいこと

年間に8回の誕生会で子供たちの♪ハッピーバースデー〜トゥ〜♪を聴いてにぎやかにすること

◆大変なこと

お風呂の順番と時間の調整

◆家族円満の秘訣

お互いの立場に立ってものを考え、あまり干渉せずに程よい距離をとって自然に暮らすこと

野口地区

土田博幸さんご家族

◎四世代 8人家族です。

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

9月9日(水)～15日(火)

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局 ☎72-2113にお問い合わせください。



表紙の言葉

7月9日、中央公民館にて戸沢村老人クラブ連合会主催第32回公式輪投げ大会が、万全なコロナウイルス感染防止措置の中で行われ、議会議員を含めて15チームで元気いっぱい、笑顔もいっぱい、長寿の秘訣で頑張っていました。

編集後記

梅雨前線の影響により甚大な被害が発生した九州、西日本、東海地方の皆様にご心痛をお見舞い申し上げます。本村も大きな河川が北部、中部、南部と流れています。災害は、いつ、どこで起こるか予測ができません。一人一人がハザードマップの活用や、災害に備えての必需品等、もう一度確認しておきましょう。

議会広報常任委員 小野 宏